

令和3年度 堺市立図書館サービス評価(案)

Ⅲ各サービス方針にかかる評価 令和3年度の取組み(案)について(質問)

	質問	回答
1. 地域の知の拠点として、市民のくらしに役立つ資料・情報を提供します。	③ さまざまな専門家等について、どのジャンルの専門家なのか教えていただけないでしょうか？	医療・健康、ビジネス、法律など、市民ニーズに対応した分野での専門家及び専門機関との連携を進めます。 これまでにビジネス書の著者による講演会、保健センターや医療機関と連携した事業を実施しました。
	(意見:「市民の読書環境の充実」が具体的でなく、何をさしているかわからない。 表にはブックフェア開催回数だけ書かれているが、もっと広い課題ではないか。)意見の内容も含め、読書環境の充実のための課題を明示してもいいのではないかと？	課題については令和4年度図書館サービス評価への反映を検討いたします。
2. 生涯学習の場として、さまざまな学習機会を支援します。	⑤ 自身が不登校やいじめの子どもたちの受け皿として図書館が機能することを望んでおり、非常に興味のある方向性です。つきましては、学校と連携して学びを支援しますの具体的な未来像を教えてくださいませんか？	中央図書館基本指針において、下記のとおり記載しています。 ・教科書に出てくる本、教科学習に関連する資料など、学校の教育課程に即した最新の資料・情報の収集と提供を行います。 ・選書支援、出張ブックトークや、児童・生徒向けの図書館利用講座などにより、学校図書館の運営を支援します。 ・司書教諭、学校司書、学校図書館専任職員等と図書館職員の間での学習会の実施など、情報交流を促進します。
3. 「歴史文化のまち堺」の発信と継承に貢献します。	堺図書館サポーター倶楽部とは、具体的にどのようなことをしているのですか。	行事の準備、補助や寄贈本の装備、本の修理、書架整理などの活動を行っています。

令和3年度 堺市立図書館サービス評価(案)

Ⅲ各サービス方針にかかる評価 令和3年度の取組み(案)について(意見)

	意見	事務局からの回答
1. 地域の知の拠点として、市民の暮らしに役立つ資料・情報を提供します。	p.9の広報活動について、報道提供・資料提供、また新聞への掲載件数がH30～R3にかけて、かなり少ないようです。新聞だけでなく、テレビや雑誌などのメディア掲載件数を今後指標に加えるとの意ではないでしょうか。	令和4年度図書館サービス評価への反映を検討いたします。
	職員の講師派遣数はⅡの基本的な図書館活動指標に入っていますが、雑誌などの原稿掲載もメディア掲載件数などとして評価指標に含めてはいいかでしょうか。専門職集団としての存在感を発揮してほしいです。	
	(「市民の読書環境の充実」について) 表にはブックフェア開催回数だけ書かれているが、もっと広い課題ではないか。 先の協議会で問題になった点は利用しやすい図書館とは という読書環境そのものだったと思う。	
	広報での案内は居住区の図書館の掲載のみなので、他の地域についてはホームページから見られる旨を記載してはどうか。	p9に追記しました。
	① 市民の読書環境の充実にさらに努めますについて、具体的にどのようにして、どんな、などの環境の拡充について明記した方がいいかとおもいます。 「市民の読書環境の充実」が具体的でなく、何をさしているかわからない。	サービスの具体的な方向性の詳細については「中央図書館基本指針」に記載しており、紙幅の都合上、割愛しています。
各区民がどこの図書館を利用しているかの集計ができるのではないか。図書館の立地条件・利便性やサービス内容など、課題が見えてくるかも知れない。	居住区別の利用統計についてですが、立地場所や無料駐車場といった利便性による利用の傾向がみられます。	
2. 生涯学習の場として、さまざまな学習機会を支援します。	教育委員会からの情報提供で、市立図書館の紹介動画を視聴する機会があったが、各区の動画がスライドショー的なもので時間も短かった。YouTubeをよく利用する世代への発信として、リニューアル改善をお願いしたい。	動画配信については試行錯誤を重ねているところであり、より良いものとなるよう努めてまいります。
	p.12の「令和3年度の取組み」欄について、「Webでの貸出等」でコロナ禍で電子書籍サービスがよく利用されたことについて(前年度よりは落ちたものの)、全く書かれていないですが、これは堺市の図書館が全国に先駆けて電子書籍サービスに取り組んできた成果がここで大きく発揮された、PRすべきことだと思うので、記述した方が良いと思います。	p12に追記しました。
	「学校と連携して学びを支援します」にかかわって。 学校図書館に司書が配置されたが、1校に週2回9:30～14:45 2校かけもち。別に図書館サポーターが週2回9:30～15:30などの条件で図書室を開け、学級の授業も支援している。閉じたままだった図書室が開き、図書室が子どもたちの大事な居場所になってきた。 一方、子どもに1台のタブレットが配布され、図書室の利用よりインターネット検索で済ませる傾向も見られる。図書室にパソコンが無い学校があるなど、学校の変化に学校図書館や司書が対応できない状況もあるのではないか。 堺市の小学校で読書ノートが使われていたが、2021年度学校が知らないまま、セレッソが提供する読書ノートに変更になった。読書数によって景品を図書館にもらいに来るなど、おかしいのではないかなど思っていたら、2022年度は紙ベースでなく、入学直後の小学1年生までタブレットで記録するものになったという。絵本に親しみ、絵や文字で記録していくことで育まれるという子どもの知的なスキルや心の発達への配慮が無さすぎるのではないか？教育委員会の管轄とは言え、子どもの読書環境の問題として図書館が意見反映してほしい。	学校教育部との連携の中で情報交換を行い、市立図書館が支援できる場所は支援してまいります。
3. 「歴史文化のまち堺」の発信と継承に貢献します。	市民との協働事業をたくさん実施していて、素晴らしいと思います。「令和3年度の取組み」欄で、もう少し堺図書館サポーター倶楽部やメモリー倶楽部、ビブリオバトル倶楽部等の活動成果について説明があったら良いと思います。	p15に追記しました。
	先日と歌山市立図書館に行く機会があった。そこには地元の文学者である有吉佐和子の特別コーナーがあり、堺市も与謝野晶子以外に多くの文人を輩出している。その方たちの特別コーナーを何らかの形で展示してもらえないかと思った。	中央図書館では堺市ゆかりの著名人のコーナーを設けています。また、各館でもブックフェアを折に触れて実施しています。今後はブックフェアについて図書館ホームページやtwitterで情報発信を行い、広報に努めます。

令和3年度 堺市立図書館サービス評価(案)

Ⅲ各サービス方針にかかる評価 令和3年度 of 取組み(案)について(評価)

	評価
1. 地域の知の拠点として、市民のくらしに役立つ資料・情報を提供します。	図書館を利用していない人も含め、図書館への期待や要望、評価、利用の実態をつかみたい。利用していない人はなぜなのかという課題も見えてくるのではないかと。
	各区民がどこの図書館を利用しているかの集計ができるのではないかと。図書館の立地条件・利便性やサービス内容など、課題も見えてくるかも知れない。
	堺区を中心に利用しやすい図書館がない、多くの校区で図書館が身近でないなどの課題もある。
	令和3年度もコロナの影響を大きく受ける1年となったが、ブックフェアの実施拡大や広報物による啓発を進めた点は良かったと思う。
	臨時休館中に臨時窓口を設置したり、事前申込による予約資料の貸出実施も臨機応変な対応として良かった。
2. 生涯学習の場として、さまざまな学習機会を支援します。	学校と連携して、学校図書館への訪問や選書支援、学校図書館職員への資料提供などに取り組んでいただき感謝しています。
	ホームページが改善されて見やすくなり良かった。
3. 「歴史文化のまち堺」の発信と継承に貢献します。	「市民交流の場をつくります。」「堺のまちづくり・地域づくりのお手伝いをします」という方向性はとても素晴らしい。市民とともに全館で工夫した取組みを続けてほしい。